

住み慣れた地域で
安心して暮らし続けるために

～永源寺の地域まるごとケア～

東近江市永源寺診療所

花戸 貴司

医学の歴史を振り返る

起源	19世紀後半	21世紀
寿命	50歳まで	85歳以上
原因	外的・母子	老化
疾病	単一	複数
経緯	単一エピソード	継続発症
目標	治癒・救命	機能改善・人生支援
目的	治す医療	支える医療
場所	病院	地域
特徴	施設医療	ケアサイクル

はよう、まいらしてほしいわ

今日お話しすること

- 永源寺地域での「在宅医療」
- 永源寺地域での「地域包括ケア」
- 永源寺地域で「地域とともに」

東近江市永源寺診療所

- 三重県と接する滋賀県南東部、東近江市永源寺地域（旧永源寺町）にある公立国保診療所
- 昭和59年に町立診療所として開設される。
- 平成2年より東部出張診療所も開設される。
- 対象人口は5800人、高齢化率は33%
- 医師1人、看護師5人 無床診療所
- 平成12年4月より現所長
- 平成20年4月より指定管理
(民営化)



一人暮らしであっても、
認知症であっても、
障がいを抱えておられても、
皆さん笑顔で生活されています。

当院が担当している在宅患者さん

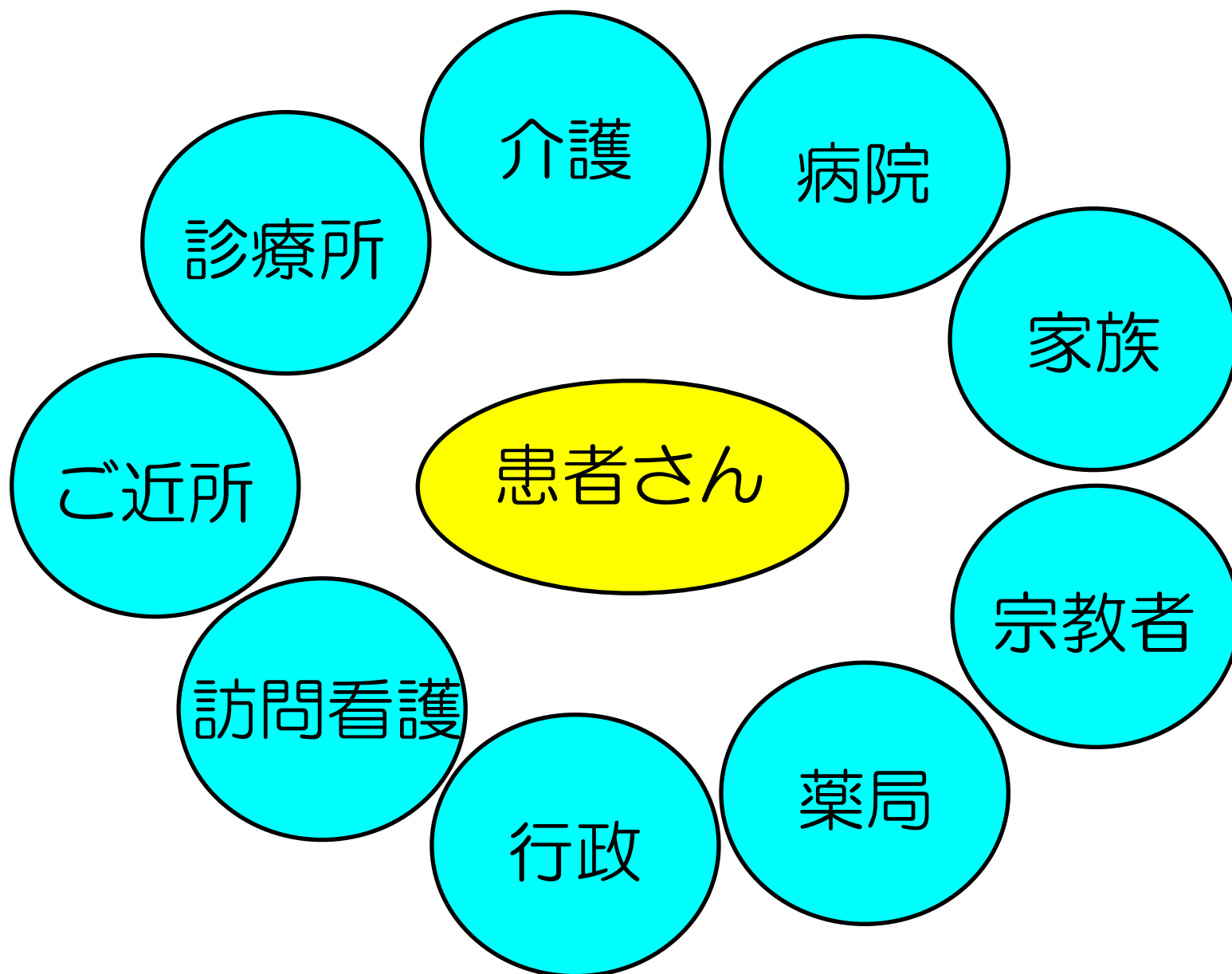
- 🎧 在宅患者さんは、80人
- 🎧 年齢は、3歳から102歳
- 🎧 何でも診ます。（看取ります）
- 🎧 在宅看取りは、25～36人／年
（地域の40～50%）

在宅医療は、医師一人ではできません

寝たきりや認知症であっても、また老夫婦、一人暮らしであっても在宅で生活することは可能です。

しかし、そのためには医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、ホームヘルパー、デイサービススタッフ、ケアマネージャー、行政、家族、ご近所の方々などの多職種連携が必要です。

患者さんの側からみた在宅医療

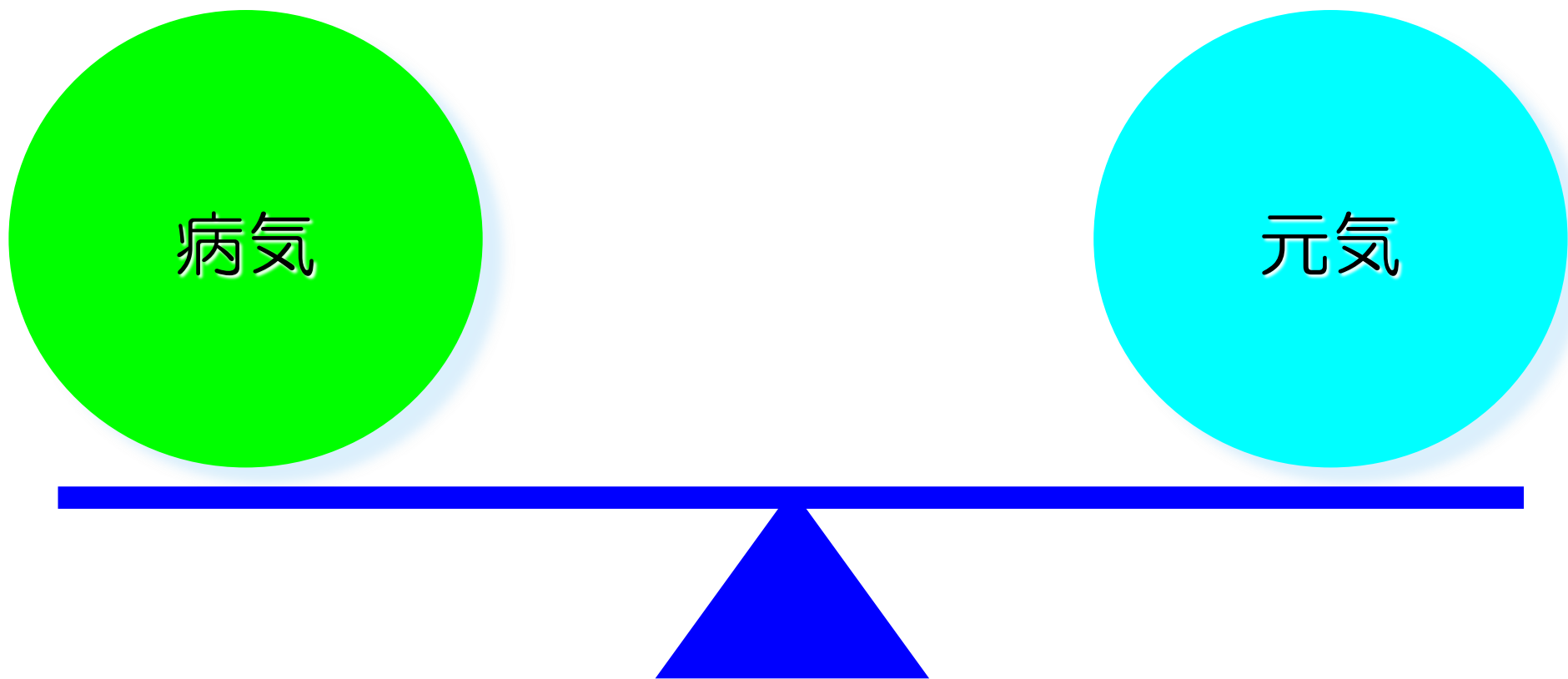


患者さんが本当に望んでいることは？

病気になった（病気が見つかった）ときに、病気を治したい、元気になりたいと思うのは誰しも当然のことです。

何のために病院に行くのですか？

何のために家に帰ってくるのですか？




「年老いても、自分らしく過ごしたい」

おくすり手帳もっていますか？

よりよい最期を迎えるということ

よりよい人生を送れた結果だと思えます。

普段から「どのような場所で、誰と生活するか
どのような治療や療養を希望するか？」
きちんと家族と話し合っておくことが大切



悩みながら、考える

それが、お別れの時間

地域社会には様々な資源があります

自助

- ・ 自立支援、セルフケア、社会参加

互助

- ・ ご近助、ボランティア、家族

共助

- ・ 医療保険、介護保険

公助

- ・ 生活保護、低所得者への支援

地域まるごとケアにできること

今の子ども達は、身近な「人の死」ばかりか、「老・病・死」を経験することが少ない。

在宅医療は、高齢者が「生きる」ことを若い人たちに伝える絶好の機会。

地域まるごとケアが目指すもの

30年、60年後になっても安心して生活できる地域づくりをしていきたい。

次の世代に伝えていかなければならないことがある。

地域医療とは

地域で「医療を行う」というだけでなく、
医療をとおしての「地域づくり」
だと考えています。

「花戸先生のご専門は何ですか？」
と聞かれたら・・・



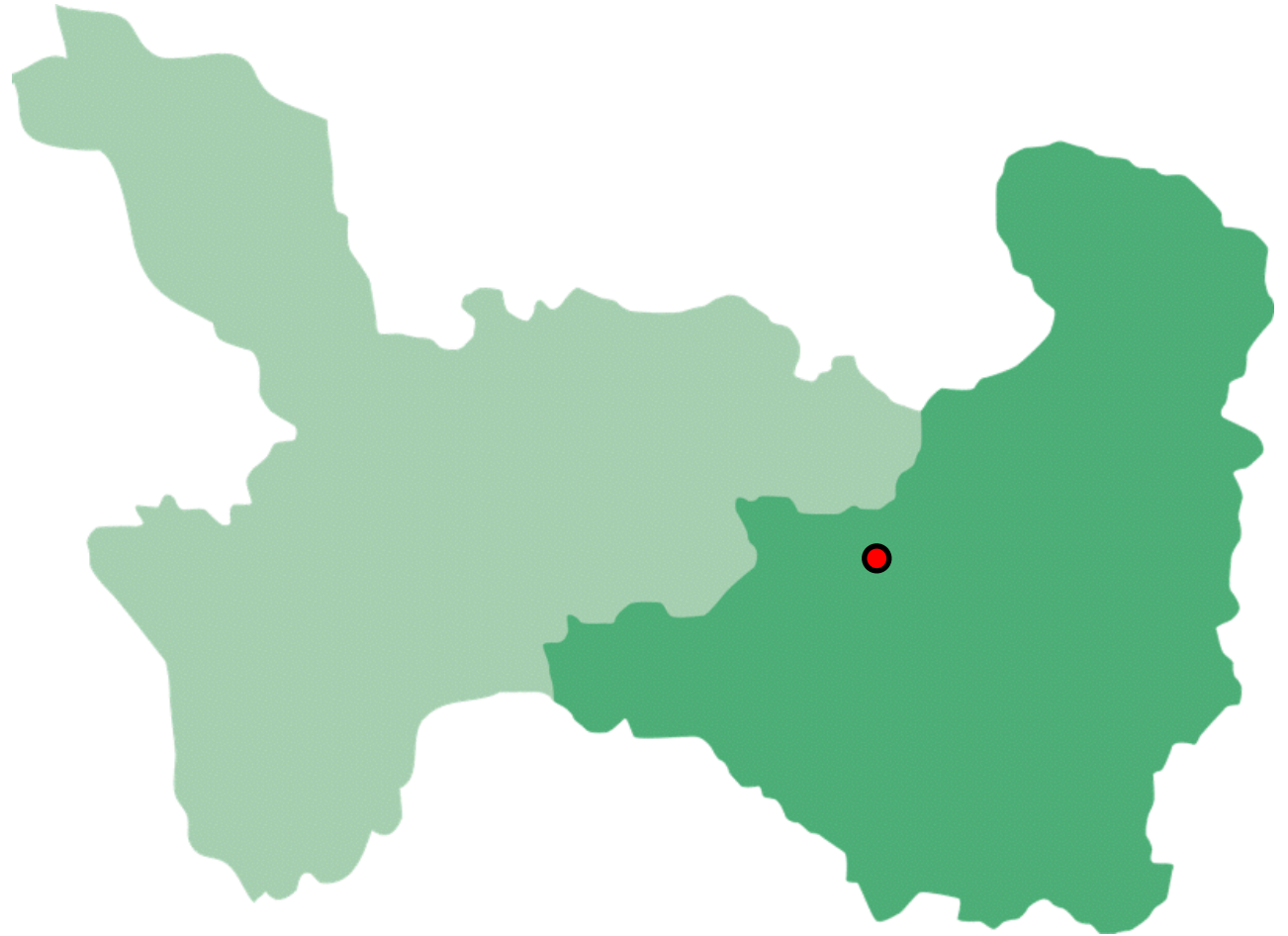
小児科？



内科？



在宅医療？



地域包括ケアのイメージ

